

校舎全景

学習指導、生徒指導、部活動等で、

個別指導の重視

本校は、新潟県と接し、田子倉湖をもつ只見町の東部に位置する。校舎は、山紫水明のすばらしい自然に囲まれた明るい丘に、近代的設備を備えて新築されたばかりで、学習には最適の環境である。三学級八十二名の小規模校であるが、少人数校の利点と、自然環境の特性に着目して、課題解決に努力している。



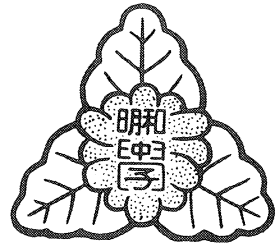
郷土愛学習をかねた造林作業

郷土愛を育てるため、クラブ活動は地域に結びついた学習をしている。春の町営杉植林地での造林作業、夏の親子キャンプ、秋のいも煮会、冬のスキー大会などを計画して、郷土の自然との触れ合いを図っている。環境緑化も「豪雪地帯の緑化はどうすべきか」のテーマのもと、花壇経営、一人一鉢運動などを展開している。

郷土愛学習と環境緑化の推進



みんなの力で美しい花壇づくり



わが校を語る

只見町立
明和中学校



予習的課題を活用した授業

特性に応じた個別指導に重点をおき、特に、授業では、昨年度より「ひとりひとりの学力の向上」をめざし、今年度は能力に応じた予習的課題の与え方と、指導過程への組織化を図っている。

気力・体力を高める部活動

全職員と全生徒が、若いエネルギーをぶつけ合う部活動は、人間的触れ合いの重要な場である。郡大会、全会津大会、県大会ですぐれた成績をおさめ、生徒の自信は大きくふくらんでいる。